

様式第5号（第4条関係）

設備工事(バルク容器)届書(別紙2—1)

1 バルク供給に係る技術上の基準に対応する事項

貯 蔵 能 力		kg (kg× 基)		
施行規則 19条	項 目	対 応 事 項	添 付 書 類	
1号 (貯蔵 能力 千キ ロ グ ラ ム 未 満)	イ	液 取 入 バ ル ブ	①試験合格品・②大臣認定品	
	ロ	ガ ス 取 出 バ ル ブ	①ガス放出防止装置(1 試験合格品・2 大臣認定品) ②緊急遮断装置(1 試験合格品・2 大臣認定品)	
	ハ	液 取 出 バ ル ブ	①ガス放出防止装置(1 試験合格品・2 大臣認定品) ②緊急遮断装置(1 試験合格品・2 大臣認定品)	
	ニ	均 圧 バ ル ブ	①有(1 試験合格品・2 大臣認定品)・②無	
	ホ	液 面 計	①試験合格品・②大臣認定品 方 式 : _____	
	ヘ	過 充 填 防 止 装 置	①試験合格品・②大臣認定品	
	ト	附 属 機 器 の 保 護	プロテクター厚さ _____ mm	
	チ	警 戒 標	表示内容 :	施工後写真
	リ	緊 急 連 絡 先 の 表 示	表示内容 :	
	ヌ	腐 食 防 止 措 置	1 錆止め塗装 塗料の種類 _____ 膜厚 _____ μ m 2 上塗り塗装 塗料の種類 _____ 膜厚 _____ μ m	
	ル	スカート又はサドル 等の設置	①スカート・②サドル	施工時写真
	ヲ	基 礎	地盤面からの高さ _____ cm	施工時写真
	ワ	車両が接触しない措 置	措置方法 :	施工時写真
	カ	安全弁放出管の設置		施工後写真
ヨ	2m以内の火気を遮る 措置及び屋外設置		構造図	
タ	常に40℃以下に保つ		構造図	

設備工事(バルク容器)届書(別紙2-2)

2号 (貯蔵能力千キログラム以上三千キログラム未満)	イ	保安距離	用途地域等(①工業専用地域・②工業団地・③その他の地域) 第1種保安物件までの距離_____m 第2種保安物件までの距離_____m 敷地境界線までの距離_____m 障壁の有無 ①有 ・ ②無	設置場所付近配置図 保安距離を示す図面 (斜角距離を含む。) 貯蔵設備の構造図 (障壁の構造)
	ロ	火気を取り扱う施設距離及び液化石油ガスの流動を防止する措置	火気を取り扱う施設距離_____m 敷地境界線までの距離 _____m 液化石油ガスの流動を防止する措置 _____	遮蔽板等の構造図及び配置図
	ハ	屋根又は遮蔽板	材質:	構造図
	ニ	消火設備の設置	消火器の個数_____個 消火器の能力A—()B—()	設置場所の位置図
	ホ	施行規則19条1号イからカまでの基準に適合	(別紙2-1)	
4号	貯槽は漏えいがないこと	試験圧力_____MPa		
5号	ガス漏れ検知器の設置 常時監視システムと接続	常時監視システム ①有 ・ ②無 常時監視装置設置場所 住所 _____ 名称 _____		
6号	高圧ガス配管内の液状液化石油ガスの滞留防止	措置方法:	施工後写真	
7号	施行規則第18条第4～7号、第9～16号、第18～22号の基準に適合	(別紙3)		
8号	供給管の耐圧試験	耐圧試験圧力 貯槽～調整器_____MPa 調整器～メーター_____MPa 一次調整器～二次調整器_____MPa		